



## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department  
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista  
São Paulo, SP – 01310-925

## 1. マーケット・レート

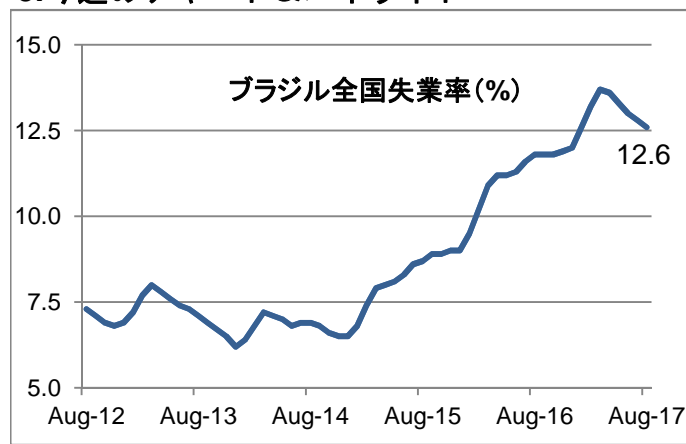
			9月25日	9月26日	9月27日	9月28日	9月29日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.1600	3.1660	3.1930	3.1830	3.1630	-0.0200
	BRL/JPY	Spot	35.35	35.46	35.33	35.29	35.57	+0.28
	EUR/USD	Spot	1.1847	1.1791	1.1750	1.1787	1.1814	+0.0027
	USD/JPY	Spot	111.70	112.26	112.80	112.28	112.51	+0.23
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	7.23	7.20	7.21	7.20	7.17	-0.0285
	Future	1Year(p.a.)	7.16	7.13	7.15	7.17	7.14	-0.0274
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.561	2.442	2.394	2.911	2.282	-0.629
	USD	1Year(p.a.)	2.605	2.558	2.522	2.762	2.424	-0.338
株式	Bovespa指数		74,443.50	74,318.75	73,796.69	73,567.25	74,293.50	+726.25
CDS	CDS Brazil 5y		205.35	203.80	203.13	199.85	195.95	-3.90
商品	CRB指数		184.609	183.396	183.861	182.990	183.088	+0.098

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

## 2. 週間市況、トピックス

- 今週のレアルは米金利上昇を受けたドル買いにつれて8月中旬以来となる3.19台へ下落。
- 週初のレアルは3.1240で寄り付いた。前週末の独総選挙では与党派が勝利するも、連立協議が難航するとの見方が浮上。また北朝鮮を巡る緊張感が再び高まる中、リスクオフの動きからレアルは3.16台へと下落した。その後、米FRBのイエレン議長が金融政策について緩やかな利上げ継続を支持すると発言。またトランプ政権による税制改革案が発表される中、米金利上昇によるドル買いからレアルは週間安値となる3.1990まで下落した。週後半は伯政府の税収が改善したことを受け、財政問題を巡る警戒感が後退したことでレアルは反転。29日には伯中銀によるドル売りスワップポジションの期日到来に伴うドル買いが発生したが、レアルは3.16台で底堅く推移し、結局3.1630で越週した。
- 伯中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2017年が0.60%から0.68%へ、2018年は2.20%から2.30%へそれぞれ上方修正された。インフレ率予想は2017年が3.08%から2.97%へ、2018年は4.12%から4.08%へ下方修正。為替レートは2017年末が3.20から3.16へレアル高方向に修正、2018年末は3.30で据え置かれた。
- 27日に伯政府が実施した石油鉱区の開発権に関する入札では、合計38億レアルと過去最高の落札額を記録。また同日行われた公営の水力発電所売却に関する入札は110億レアルの最低落札価格に対して121億レアルで落札された。28日発表の中央政府の8月基礎的財政収支では税収が改善。これらを受けて伯政府による今年の財政赤字目標達成に関して市場の見方が改善した。
- 伯中銀は9月末日のドル売りスワップポジションについて、今週も1日当たり6億ドルのペースでロールオーバーを継続。結局、約39.8億ドルのポジションがロールされずに期日を迎え、ドルの買い戻しが発生した。なお、10月末・11月末に期日が到来するポジションは無い。

## 3. 今週のチャート&amp;ハイライト



出所：Bloomberg

## 8月の伯全国失業率は5ヶ月連続で低下

29日に発表された8月の伯全国失業率は12.6%と前月の12.8%から低下し、5ヶ月連続で改善した。直近3ヶ月では就業者数が137万人増加した一方、失業者数は66万人減少。引き続き労働市場の悪化に歯止めがかかっていることを示す結果となった。今年の第2四半期GDPでは個人支出が2014年以来の前期比プラスに転じており、インフレ低下により実質賃金も上昇傾向となっている状況下、購買力の回復が緩やかな景気回復をサポートすることが期待されている。



## 4.来週の為替市場注目点

## 予想ドル・レアル相場レンジ：3.10-3.20

来週のレアルは揉み合う展開を予想する。今週はイエレンFRB議長の発言を受けた米金利上昇によりドルが買われたが、金利先物市場ではFRBの12月追加利上げが7割程度まで織り込まれており、さらにドルを買い進む動きは限定的と考える。国内ではテメル大統領に対する二回目の起訴について下院の憲法法務委員会(CCJ)が審議を開始する予定。テメル政権下での年金改革進展に対する期待感を低下させる材料が出てくる可能性には注意を要する。

来週は国内で鉱工業生産指数や自動車関連指標が発表される他、6日に9月のインフレ率(IPCA)が発表予定。伯中銀による金融緩和の背景となっているインフレ動向について内訳に注目したい。

また米国サイドでは6日に9月の雇用統計が発表される。ハリケーンの影響から雇用者数増加は低い水準が予想されているが、一時的な要因のため市場への影響は限定的と見られる。

## 5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	全国失業率	12.6%	12.6%	12.8%
ブラジル	基礎的財政収支	-14.5b	-9.5b	-16.1b
ブラジル	Nominal Budget Balance	-49.2b	-45.5b	-44.6b
ブラジル	純債務対GDP比	50.6%	50.2%	50.1%
米	個人支出	0.1%	0.1%	0.3%
米	個消費物価 <sup>+</sup> フレタ(前月比)	0.3%	0.2%	0.1%
米	PCEコア(前月比)	0.2%	0.1%	0.1%
米	ミシガン大学消費者マインド <sup>+</sup>	95.3	95.1	95.3

## 6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	10/2	マーケット・ブラジルPMI製造業	Sep	--	50.9
ブラジル	10/2	CNI設備稼働率(季調済)	Aug	--	77.4%
ブラジル	10/2	貿易収支(月次)	Sep	\$5150m	\$5599m
ブラジル	10/2	自動車販売台数(伯自販連)	Sep	--	216534
ブラジル	10/3	鉱工業生産(前月比)	Aug	0.30%	0.8%
ブラジル	10/4	FIPE消費者物価指数(月次)	Sep	--	0.10%
ブラジル	10/4	マーケット・ブラジルPMIコンホ <sup>+</sup> ジット	Sep	--	49.6
ブラジル	10/4	マーケット・ブラジルPMIサービス業	Sep	--	49.0
米	10/4	ADP雇用統計	Sep	140k	237k
ブラジル	10/5	自動車生産台数(伯自工会)	Sep	--	260349
ブラジル	10/5	自動車販売台数(伯自工会)	Sep	--	216534
ブラジル	10/5	自動車輸出(伯自工会)	Sep	--	66582
米	10/5	新規失業保険申請件数	Sep 30	263k	272k
ブラジル	10/6	IBGEインフレ率IPCA(前年比)	Sep	2.47%	2.46%
米	10/6	非農業部門雇用者数変化	Sep	77k	156k

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さい。宜しくお願ひ申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は、著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。